

笠岡市議会 2005年12月議会 質問通告

日本共産党 ひのつ倫子

1 国体を節目としたスポーツ振興について

一般女子バスケット会場となった笠岡市、大会準備、大会期間中を含め、ボランティア・応援などで小学生、中学生、市民の間にバスケットに関する興味、関心が深まっています。この期に社会教育、学校教育にバスケット競技の振興を図ることが大切と思われます。特に学校教育での振興の声が多く聞かれています。9月議会でも尋ねましたが、中学校でのスポーツ振興のため、部の設立の考えはないかどうかをたずねます。

2 灯油の大幅な値上げに伴う生活困窮家庭への補助について

灯油18リットルの小売価格が1年前より239円、2年前より432円、三年前より510円値上がりし、現在の小売価格が約1300円となっています。今後も値上がりが予想されるといいます。生活困窮家庭に与える影響は大きいと思われます。必要な補助をすべきと思うがどうかをたずねます。

3 集団検診における検診会場の削減について

お年寄りを初めとした市民の間に、自分自身の健康維持に関心が高まっています。集団検診への期待には大きな意義ときたいがよせられている。しかしレントゲン検診では、せっかくの検診に、会場が一部削減され、遠くなり受信できなくなったとの声を聞く。検診会場を再検討すべきと思うがどうかをたずねます。

4 公私を問わず入院施設を伴う病院、福祉関係施設の耐震診断、補強について

地震発生時における入院患者の命を守ることは重要である。病院、施設の耐震診断、耐震補強など耐震化の現状と、今後の計画をたずねます。

5 干拓内に持ち込まれた建設残土搬入にかかわる問題と、新たに持ち込まれた産業廃棄物(牛糞)の対応について

昨年8月より持ち込まれた残土は、関係住民の不安を取り除き、干拓の目的に沿った方向での指導がなされています。しかし、今だ撤去されていない重機、新たに持ち込まれた産業廃棄物問題など、干拓の目的に沿った方向での解決が十分ではないと思われます。業者の姿勢が疑われます。現状と、今後の見通しについてたずねます。